

平成30年度 小林市立小林小学校 学校関係者評価書

4 段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
--------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	家庭・地域と協働し、知恵・声・汗を出すことの実行を通して、自ら行動できる（学び、思いやり、きたえる）子どもの育成を目指す。
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント	
知 育	重点目標 自ら学ぶ子どもの 育成	1について ○ 児童のアンケートによると「地域や社会への関心」は、74%が肯定的な意見で昨年度より増えており、保護者のアンケートでは、80%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業等で、身近な出来事や報道、人材や企業を活用」については肯定的な意見が54%であったが、授業や行事との関連で積極的に地域人材を活用することができている。 ◇ 地域や社会の情報活用については、目標値を上回ることができた。今後は、キャリア教育推進の視点からも取組を更に充実させていく必要がある。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今の時代、これからの時代に求められる教育課程を編成する時に行事（活動）の取捨選択をして、児童に提供することが必要ではないかと考えます。 ○ 地域や社会で起こっていることに興味をもつことについては、今の大人社会でも関心が低下している。本当は、世代間を越えて絆を深めていく必要がある。そのためにもコミュニティスクールの活動を形式的なものではなく、もっと主体的に活動できる形にした方がよいのではないかと思います。 ○ アンケートでは概ね目標値を達成できているが、職員の数値が若干低いので、職員と地域との交流を考慮してほしい。 ○ 学校外の学習の場（市民講座や交流事業）にも目が向けられていると感じる。 ○ 職員のアンケートの数字が思ったより低かったので、改善を頑張してほしい。 	
	手段 1 地域や社会への 関心を高める。	2について ○ 児童のアンケートによると「何のために学ぶのか。（めあて）」を理解していますかの問いに91%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業中で目的や課題を明確にした指導」については肯定的な意見が100%であった。 ◇ 日々の授業の中で必ず「学習のめあて」を設定して学習を進めているので、児童は、めあてを意識した学びができている。これからも目的・課題意識をもたせながら学習に取り組ませていく。				<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童にとっては、学ぶ量、教師にとっては指導する量・質を考慮して学習を進めていかなければ、児童・教師とも負担加重になるのではないかと心配します。 ○ 学習内容が児童に定着するようにするための学校側の努力には敬意を表したい。 ○ 児童個々の能力に差があつてあたり前なので、一人一人がその児童なりの「よく分かり、しっかり考えている」という気持ちを大切に、これからの授業作りに生かして行ってほしい。 ○ 大変良好な成果が出ている。
	2 目的意識・課題 意識を高める。	3について ○ 児童のアンケートによると「授業はよく分かりますか。」の問いに対して89%が肯定的な意見であり、「難しい問題を周りと話し合いながら解決していますか。」の問いに対して82%が肯定的な意見であった。 ○ 職員のアンケートでは、「授業の中で学び合う場と時間を保証」については肯定的な意見が92%であった。 ◇ 児童は授業に意欲的に取り組み、日々学力向上に努めている。学び合いの学習も積極的に取り入れ、活発に自分の意見を言うことができる児童も増えている。Web評価システムも100%の活用ができている。				
3 主体的・対話的 で深い学びの場 を増やす。						

